

モデル実施地域における事前周知について

■ 7 月試行モデル実施地域

駒込一丁目・目白五丁目

計 約 3,300 世帯

【周知方法】

1 地域説明会等

名 称	実施回数	実 施 期 間
地 域 説 明 会	7 回	平成 19 年 6 月 1・3・6・8・19・21・24 日
区 政 連 絡 会	12 回	平成 19 年 5 月 7 日～16 日
町会役員会等	4 回	平成 19 年 5 月 8・11 日、6 月 17 日

2 戸別配付

配付世帯	内 容	実施期間
約 3,300 世帯	チラシ・説明会のお知らせの配付	平成 19 年 5 月 8 日～21 日

3 区広報紙等

方 法	数量等	内 容 等
区	広報紙	2 回
	広報 HP	1
	広報掲示板	7 か所
	集積所看板	約 100 か所
	区施設窓口	5 か所
町会	回覧版	220 部
	掲示板	35 か所
		5 月 5 日号、6 月 20 日号 試行モデル実施内容のお知らせ 平成 19 年 7 月 1 日から掲示 区民課、東・西区民事務所、駒込・目白図書館 駒込一丁目町会、目白協和会（目白五丁目）

■ 10 月本格モデル実施地域

本格モデル実施地域

駒込一・二・三丁目、池袋本町三・四丁目、目白三・四・五丁目

計 約 13,200 世帯

※駒込一丁目、目白五丁目は、試行モデル地域から本格モデルへ移行。

〔予定〕

年 月	内 容
19 年 8 月	・区広報紙 8 月 5 号 ・戸別配付、HP、広報掲示板、区施設窓口
9 月	・地域説明会 ・区広報紙 9 月 20 号
10 月	・本格モデル実施 ・集積所看板

廃プラスチック サーマルリサイクル モデル実施状況

1 モデル地域の規模と実施時期

モデル地域		期 間	世帯数
試行モデル	駒込1丁目	平成19年7～9月	約3% (約3,300世帯)
	目白5丁目		
本格モデル	駒込1～3丁目	平成19年10月 ～20年9月	約10% (約13,200世帯)
	池袋本町3・4丁目		
	目白3～5丁目		

2 事前周知等の取り組み

(1) 事前周知

内 容	試行モデル	本格モデル
地域説明会、町会役員会	11回 開催	19回 開催(予定)
戸別配付	各家庭、事業所を対象に、「お知らせ」を戸別配付	同 左
区広報紙、区ホームページ、 区・町会掲示板等	区広報紙5月5日号、6月20 日号、区・町会掲示板等	区広報紙8月5日号、9月20 日号、区・町会掲示板等

(2) 試行モデル実施のフォローアップ

試行実施後、1か月間、各モデル地域の集積所を中心として、排出状況、不適正ポイントの把握、「お知らせ」の再配付を実施

(3) アンケート調査、排出状況調査、清掃工場の実証確認

○試行モデル地域の20歳以上の区民を対象に、アンケート調査を実施

〔調査対象者数〕500世帯〔調査期間〕平成19年8月15～31日〔回答数〕259件(51.8%)

○試行モデル地域のモデル実施前後のごみの組成の変化について委託調査を実施

〔調査期間〕平成19年6～9月

○清掃一組において、豊島清掃工場の環境負荷について実証確認を実施予定

〔実施期間〕試行モデル 平成19年7～12月

本格モデル 平成19年10月～平成20年3月

3 試行モデル地域のごみ・資源量の収集状況(19年8月分 速報値)

単位：収集量トン、増減率%

モデル地域	ご み				資 源			
	燃やすごみ		金属・陶器・ ガラスごみ		びん・かん ペットボトル類		紙・布類	
	収集量	増減率	収集量	増減率	収集量	増減率	収集量	増減率
駒込1丁目	59.10		14.28		5.95		10.05	
	67.63	14.43	3.48	△75.6	7.03	18.2	14.51	44.4
目白5丁目	55.60		14.30		6.08		7.48	
	55.39	△0.38	2.20	△84.6	7.83	28.8	10.59	41.6
全地域	114.70		28.58		12.03		17.53	
	123.02	7.3	5.68	△80.1	14.86	23.5	25.10	43.2

※表中上段：モデル実施前の収集量(試算)。下段はモデル実施後の収集量。

廃プラスチックサーマルリサイクル(新資源回収事業) 試行モデル実施状況

1 ごみ量・資源量の状況

(1) 実施概要

■試行モデル地域の規模

駒込1丁目・目白5丁目 約3,300世帯(全世帯のうち 約3%)

○駒込1丁目 約1,800世帯 人口 約3,100人

○目白5丁目 約1,500世帯 人口 約2,700人

■実施期間

平成19年7～9月

(2) 実施結果

■全地域

【ごみ収集量】

単位：収集量、増減量トン、増減率%

区分 月別	ごみ総量			燃やすごみ			金属・陶器・ガラス ごみ		
	収集量	増減量	増減率	収集量	増減量	増減率	収集量	増減量	増減率
総計	406.13	—	—	321.64	—	—	84.49	—	—
	373.62	△32.51	△8.0	354.54	32.90	10.2	19.08	△65.41	△77.4
7月	137.81	—	—	111.01	—	—	26.80	—	—
	129.98	△7.83	△5.7	122.34	11.33	10.2	7.64	△19.16	△71.5
8月	139.14	—	—	110.56	—	—	28.58	—	—
	124.10	△15.04	△10.8	118.42	7.86	7.1	5.68	△22.90	△80.1
9月	129.18	—	—	100.07	—	—	29.11	—	—
	119.54	△9.64	△7.5	113.78	13.71	13.7	5.76	△23.35	△80.2

【資源回収量】

単位：回収量、増減量トン、増減率%

区分 月別	資源総量			びん・かん・ペット ボトル類			紙・布類		
	回収量	増減量	増減率	回収量	増減量	増減率	回収量	増減量	増減率
総計	85.34	—	—	35.36	—	—	49.98	—	—
	122.73	37.39	43.8	43.83	8.47	24.0	78.90	28.92	57.9
7月	29.90	—	—	12.73	—	—	17.17	—	—
	46.07	16.17	54.1	15.06	2.33	18.3	31.01	13.84	80.6
8月	29.56	—	—	12.03	—	—	17.53	—	—
	39.96	10.40	35.2	14.86	2.83	23.5	25.10	7.57	43.2
9月	25.88	—	—	10.60	—	—	15.28	—	—
	36.70	10.82	41.8	13.91	3.31	31.2	22.79	7.51	49.1

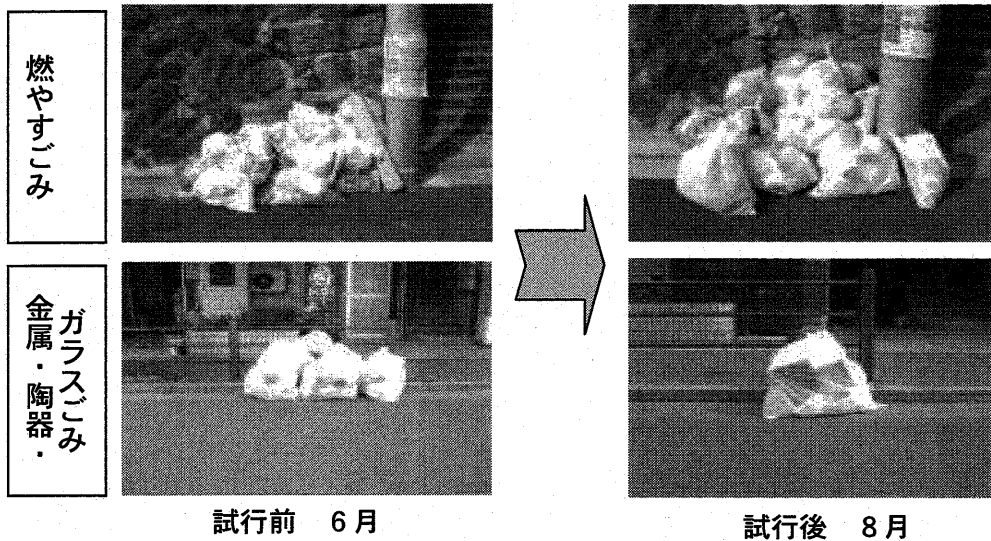
注1. 月別欄上段はモデル実施前、下段はモデル実施後

注2. モデル実施前の収集量、回収量は、平成19年6月の調査値を過去4年間の各月平均値により補正

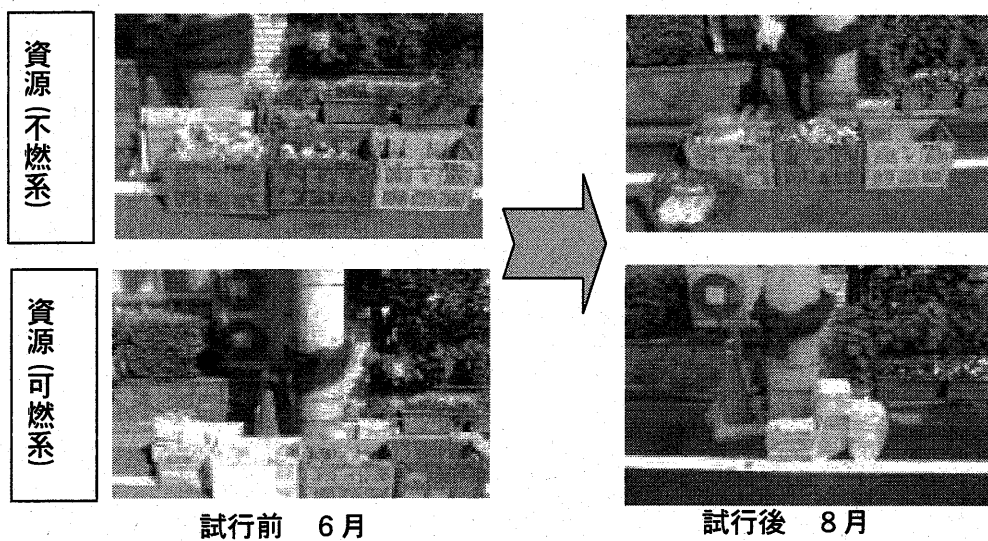
モデル地域の状況

【駒込1丁目の例】

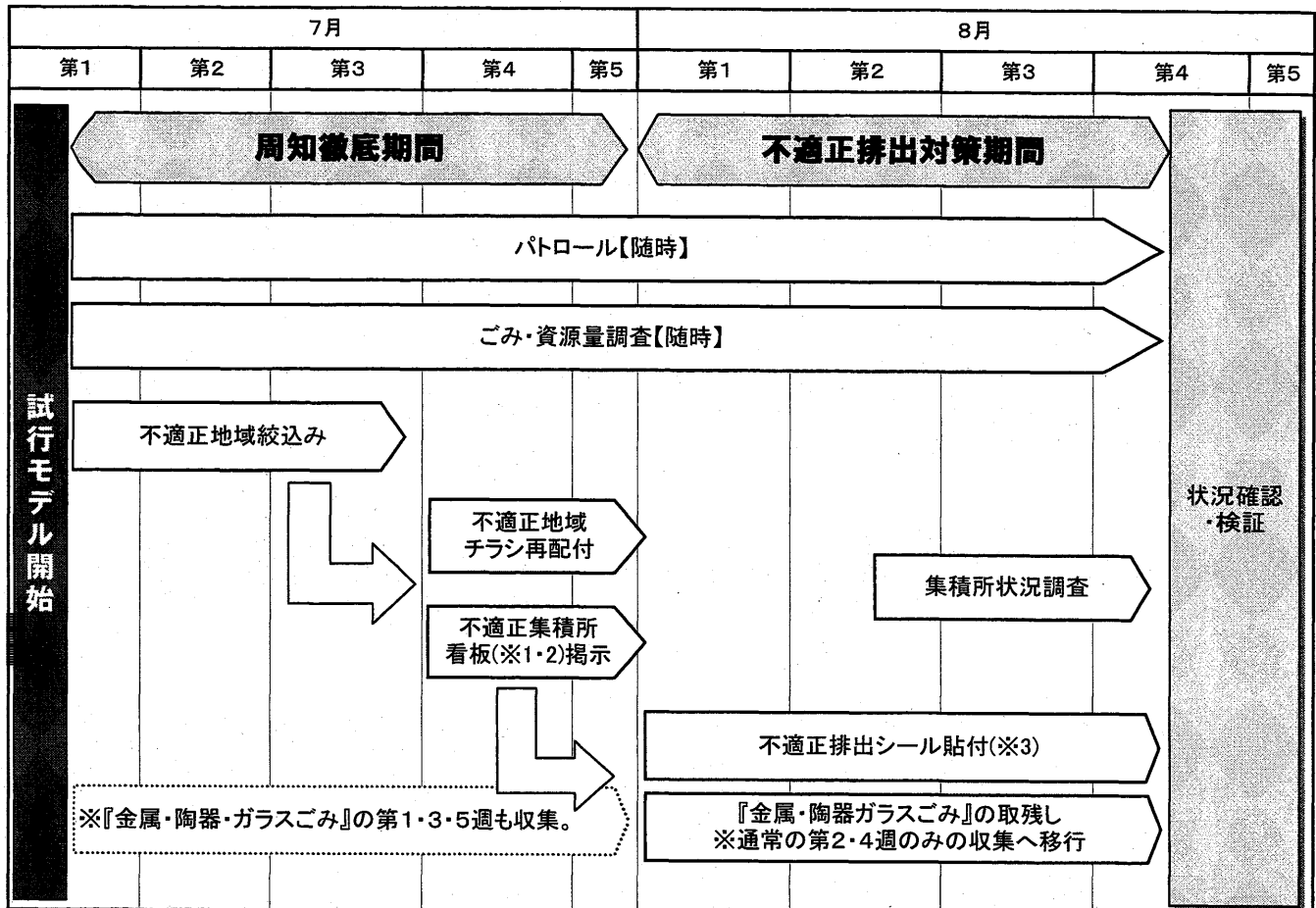
集積所の状況



集積所の状況



(3) フォローアップの実施



※1

対象地域 駒込1丁目 開始時期 平成19年7月から

資源とごみの分け方・出し方が変わります

資源とごみは収集日の 朝8時 までに出してください。

資源	びん・かん・ペットボトル類 Bottles, Cans, PET bottles	水 WED	びん、かん、ペットボトル、トレー、プラスチック容器(ボトルタイプ)
	紙・布類 Paper, Clothing	木 THU	新聞、雑誌、段ボール、厚紙製の箱、包装紙、牛乳パック、古布

※ 新聞・雑誌等は、まず町会などで行っている「集団回収」に出してください。

燃やすごみ Suitable For Burning	火 TUE	金 FRI	生ごみ、紙くず、木くず、プラスチック(資源回収品目を除く)、ゴム、皮革 など
-------------------------------	----------	----------	--

金属・陶器・ガラスごみ Metal, China, Glass	第2土 2ND SAT	第4土 4TH SAT	金属、陶器、ガラス、スプレー缶、ガスライター など
------------------------------------	----------------	----------------	---------------------------

「金属・陶器・ガラスごみ」は、月2回 の収集です。

第1・3・5の土曜日は収集日ではありません。

豊島清掃事務所 ☎3984-9681

清掃環境部計画管理課 ☎3981-1601
Planning and Management Section, Sanitation and Environment Div.

集積所ご利用の方へ

※2

第1・3・5
土曜日は、
集日では
ありません。

豊島清掃事務所 連絡先:3984-9681

※3

廃プラスチック
は、『燃やすごみ』
の日に出してください。

2 アンケート調査結果【速報】

(1) 調査概要

調査目的

アンケート調査は、モデル事業を実際に行っている区民を対象に、「新たな資源とごみの分け方・出し方」や「モデル実施の周知方法」などについて、区民の行動や意向などを把握し、解析することで、本格モデル実施や来年度の本格実施に向けた基礎資料とするため実施した。

調査時期

平成19年8月15日（水）～8月31日（金）

※モデル実施開始後、事業が定着すると思われる時期

調査対象

駒込1丁目と目白5丁目の計500世帯

※住民基本台帳人口から、モデル実施地域に住んでいる20歳以上の世帯主500名を年齢層、世帯構成がおおよそ均等になるよう無作為抽出

調査方法

1) 調査方法

自記式調査票による郵送配布・郵送回収

2) 調査票作成・郵送・集計・分析

職員によるアンケート作成、データ入力、データ集計、データ解析等

3) 対象者の抽出

情報管理課に対象者リスト作成を依頼

回収状況

- | | |
|----------|-----------------|
| 1) 発送数 | 500通（8月15日発送） |
| 2) 有効発送数 | 500通 |
| 3) 回収数 | 259通（9月3日までに到着） |
| 4) 有効回収数 | 259通 |
| 5) 有効回答率 | 51.8% |

(2) アンケート結果について

1 モデル事業の周知度、周知方法について

- ◆モデル事業で実施した周知方法やチラシ内容は、周知度・理解度ともに90%を超えており、ほぼ目標は達成されている。
- ◆モデル事業を知った手段は、「各戸配布チラシで」による周知が74.1%となっており最も有効な手段となっている。次いで「区報で」が19.3%、「集積所の看板で」が17.3%、「町会の回覧で」が13.2%であり、件数でみるとこの4つで全体の約8割を占めている。

2 ごみの出し方について

- ◆モデル事業への協力度は、「きちんと分けている」と「だいたい分けている」を合わせると94.7%であり、想定していた80%を上回っている。
- ◆収集回数は、「燃やすごみ」(週2回)、「金属・陶器・ガラスごみ」(月2回)ともに「ちょうど良い」が70%を超えている。名称の変更についても「分かりやすくなった」が64.3%となっており、新たなごみ出しのシステムは良好に運用されている。
- ◆分別で「迷った製品」とされたものについては、チラシの中に具体例として取り入れる等の対策を講じる必要がある。

※ごみ量の変化は、予想された傾向であるが、今後、実際のごみ収集量やごみ組成調査等の結果を十分に検証する必要がある。

3 資源回収について

- ◆資源回収の回数を週1回から2回に倍増し、品目を整理したことにより、「出しやすくなった」が60.7%となっている。
- ◆新たに導入した回収ネットの使いやすさは、無回答を除き、「使いやすくなった」の34.4%と「あまり変わらない」の45.2%をあわせると約8割である。導入にあたっては、衛生面等への配慮が必要である。

※資源量の変化は、予想を下回っているが、今後、実際のごみ収集量やごみ組成調査等の結果を十分に検証する必要がある。

4 モデル事業の感想について

- ◆モデル事業の感想は、「不燃ごみが減り、楽になった」が59.0%で最も高く、次いで「ごみの分け方が分かりやすくなった」が43.0%、「資源回収が週2回になり、出しやすくなった」が41.4%と今回の新たな分け方・出し方に好意的な感想が上位を占めており、変更の趣旨や新たなシステムは全般的に受け入れられていると考える。
- ◆「廃プラスチックを燃やすごみに出すことに抵抗を感じた」とする感想は35.7%であり、その理由としては、環境への影響やこれまでの習慣等が考えられる。今後も実証確認結果の公表をはじめ、適時適切な情報提供に努めることが必要である。

5 今後の区の資源回収について

- ◆現状の資源回収品目を維持した方が良いとする意見が84.9%を占めているが、環境負荷等循環型社会づくり、公共サービス、経済性等の視点から、今後の資源回収のあり方等について検討する必要がある。

(3) 調査結果

属性

1 性別

選択肢	件数	割合 (%)
男	97	37.5
女	162	62.5
無回答	0	0.0
全体	259	

2 年齢

選択肢	件数	割合 (%)
20歳代	18	6.9
30歳代	36	13.9
40歳代	36	13.9
50歳代	46	17.8
60歳代	46	17.8
70歳代以上	77	29.7
無回答	0	0.0
全体	259	

3 家族の人数

選択肢	件数	割合 (%)
1人	40	15.4
2人	67	25.9
3人	58	22.4
4人	51	19.7
5人	32	12.4
6人以上	11	4.2
無回答	0	0.0
全体	259	

4 職業

選択肢	件数	割合 (%)
会社員・会社役員・公務員	69	26.6
自営業・自由業	41	15.8
パート・アルバイト	23	8.9
専業主婦	59	22.8
学生	3	1.2
無職	55	21.2
その他	9	3.5
無回答	0	0.0
全体	259	

5 住居

選択肢	件数	割合 (%)
一戸建て（住居専用）	87	33.6
一戸建て（店舗・事務所・工場等併設）	16	6.2
2階までの集合住宅	10	3.9
3階建て以上の集合住宅	137	52.9
その他	9	3.5
無回答	0	0.0
全体	259	

6 居住年数

選択肢	件数	割合 (%)
1年未満	12	4.6
1年以上～5年未満	45	17.4
5年以上～10年未満	30	11.6
10年以上～20年未満	29	11.2
20年以上	143	55.2
無回答	0	0.0
全体	259	

7 地域

選択肢	件数	割合 (%)
駒込1丁目	153	59.1
目白5丁目	106	40.9
無回答	0	0
全体	259	

アンケート

1 モデル事業の周知度、周知方法等について

1-1 モデル事業の周知度

選択肢	件数	割合 (%)
知っていた	244	94.2
知らなかった	15	5.8
無回答	0	0.0
全体	259	

1-2 モデル事業を知った手段（複数回答）

選択肢	件数	割合 (%)
各戸配布チラシで	180	74.1
地域説明会で	18	7.4
収集職員に聞いた	13	5.3
集積所の看板で	42	17.3
町会の回覧で	32	13.2
近所の人に聞いた	13	5.3
区報で	47	19.3
区のホームページで	2	0.8
町会・区の掲示板で	14	5.8
その他	11	4.5
全体	372	

1-3 新たな分け方・出し方の理解度

選択肢	件数	割合 (%)
よく分かった	100	41.0
だいたい分かった	129	52.9
よくわからない	2	0.8
無回答	13	5.3
全体	244	

1-4 ごみ・資源の排出時間の状況

選択肢	件数	割合 (%)
当日の午前7時まで	30	12.3
当日の午前7～8時	119	48.8
当日の午前8時以降	42	17.2
前日の夕方・夜	30	12.3
無回答	23	9.4
全体	244	

2 ごみの出し方について

2-1 モデル事業への協力度

選択肢	件数	割合 (%)
きちんと分けている	174	71.3
だいたい分けている	57	23.4
あまり分けていない	0	0.0
分け方を変えていない	1	0.4
無回答	12	4.9
全体	244	

2-2 ごみの収集回数

【燃やすごみ】

選択肢	件数	割合 (%)
ちょうどよい	177	72.5
少ない	54	22.1
多い	0	0.0
無回答	13	5.3
全体	244	

【金属・陶器・ガラスごみ】

選択肢	件数	割合 (%)
ちょうどよい	175	71.7
少ない	38	15.6
多い	15	6.1
無回答	16	6.6
全体	244	

2-3 ごみ量の変化

【燃やすごみ】

選択肢	件数	割合 (%)
かなり増えた	86	35.2
多少増えた	86	35.2
あまり変わらない	58	23.8
無回答	14	5.7
全体	244	

【金属・陶器・ガラスごみ】

選択肢	件数	割合 (%)
ほとんどなくなった	104	42.6
半分以上になった	69	28.3
あまり変わらない	56	23.0
無回答	15	6.1
全体	244	

2-4 ごみの分け方に迷う製品

選択肢	件数	割合 (%)
ない	152	62.3
ある	75	30.7
無回答	17	7.0
全体	244	

2-5 名称の変更

選択肢	件数	割合 (%)
分かりやすくなった	157	64.3
あまり変わらない	66	27.0
分かりにくくなった	8	3.3
無回答	13	5.3
全体	244	

2-6 「分け方を変えていない」理由

選択肢	件数	割合 (%)
分け方などの変更の内容が分かりにくかったから	0	0.0
分け方を変えるのがめんどうだから	0	0.0
分け方を変える必要性がよく分からないから	1	0.4
廃プラなどを燃やすことに抵抗を感じるから	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	1	

3 資源回収について

3-1 資源の出しやすさ

選択肢	件数	割合 (%)
出しやすくなった	148	60.7
あまり変わらない	73	29.9
出しにくくなった	8	3.3
無回答	15	6.1
全体	244	

3-2 資源量の変化

選択肢	件数	割合 (%)
出す機会が増え、資源の全体量は増えた	56	23.0
これまでも分別を徹底していたので、変わらない	157	64.3
変更の内容が分からないので、変わらない	6	2.5
今まで資源を出していないので、変わらない	5	2.0
出し方が分かりにくくなったので、減った	3	1.2
無回答	17	7.0
全体	244	

3-3 回収ネットの使いやすさ

選択肢	件数	割合 (%)
使いやすくなった	54	22.1
あまり変わらない	71	29.1
使いにくくなった	32	13.1
無回答	87	35.7
全体	244	

4 モデル事業実施の感想について

4-1 モデル事業の感想（複数回答）

選択肢	件数	割合 (%)
不燃ごみが減り、楽になった	144	59.0
燃やすごみが増え、大変になった	35	14.3
ごみの分け方が分かりやすくなった	101	41.4
ごみの分け方が迷うようになった	22	9.0
資源回収が週2回になり、出しやすくなった	105	43.0
廃プラスチックを燃やすごみに出すことに抵抗を感じた	87	35.7
ごみや資源に対する意識が強くなった	46	18.9
その他	9	3.7
全体	549	

5 今後の区の資源回収について

5-1 今後の区の資源回収品目の展開（複数回答）

選択肢	件数	割合 (%)
品目を更に増やして充実する方がよい	28	11.5
品目増やすと分かりにくくなるので、現行を徹底する方がよい	173	70.9
保管場所が少ないので、これ以上増やさない方がよい	63	25.8
分別が複雑なので、品目を減らした方がよい	7	2.9
その他	7	2.9
全体	278	

平成19年8月15日
豊島区清掃環境部

資源とごみの分け方・出し方の変更にに関する区民アンケート調査

ご協力のお願い

日ごろより、区の清掃事業にご協力いただきありがとうございます。

さて、豊島区では7月から、お住まいの地域を対象に新たな「資源とごみの分け方・出し方」によるモデル事業を実施しています。この調査は、新たな分け方などについて、モデル地域の皆様のご意見をお聞きし、今後のリサイクル・清掃施策の基礎資料とするために実施するものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、この調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○調査対象

このアンケート調査は、モデル地域（駒込一丁目・目白五丁目）にお住まいの20歳以上の世帯主の方の中から無作為に500人をお選びして実施するものです。

○回答方法

回答は調査票に直接記入し、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

※切手の貼り付け、ご氏名の記入は不要です。

○回答期限

平成19年8月31日（金）までにポストにご投函ください。

○プライバシーの守秘

回答内容は、すべて統計的に処理し、回答いただいた方が特定されることはありません。

【問い合わせ先】

豊島区 清掃環境部 計画管理課 循環型社会推進担当

豊島区東池袋1-18-1

電 話 3981-1320

FAX 3981-6207

資源とごみの分け方・出し方の変更に関する区民アンケート調査票

■はじめに、あなた自身のことについてお聞きします。(○はひとつ)

※統計的に分析するために使用します。

1 性別	1 男性 2 女性
2 あなたの年齢	1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳代以上
3 あなたを含めたご家族の人数	1 1人 2 2人 3 3人 4 4人 5 5人 6 6人以上
4 あなたのご職業	1 会社員・会社役員・公務員 2 自営業・自由業 3 パート・アルバイト 4 専業主婦 5 学生 6 無職 7 その他
5 お住まいの形態	1 一戸建て（住居専用） 2 一戸建て（店舗・事務所・工場等併設） 3 2階建てまでの集合住宅 4 3階建て以上の集合住宅 5 その他
6 豊島区にお住まいの年数	1 1年未満 2 1年以上～5年未満 3 5年以上～10年未満 4 10年以上～20年未満 5 20年以上
7 お住まいの地域	1 駒込一丁目 2 目白五丁目

1 モデル事業の周知度、周知方法等について

問1. 本年7月から、モデル事業を開始したことにより、ごみや資源の分け方や出し方が変わったことをご存知でしたか。

(○はひとつ)

- | | |
|----------|------------|
| 1 知っていた | (問2以降へ進む) |
| 2 知らなかった | (問15以降へ進む) |

問2. モデル事業をどのようにして知りましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------------------|-------------|-------------|
| 1 各戸配付チラシで | 2 地域説明会で | 3 収集職員に聞いた |
| 4 集積所の看板で | 5 町会の回覧で | 6 近所の人に聞いた |
| 7 区報で | 8 区のホームページで | 9 町会・区の掲示板で |
| 10 その他 () | | |

問 3. 資源とごみの新しい分け方や出し方は、分かりましたか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|------------|
| 1 よく分かった | 2 だいたい分かった |
| 3 よく分からない (理由: |) |

問 4. 資源とごみを出す時間を午前 8 時に統一しましたが、何時頃出していますか。
(○はひとつ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 当日の午前 7 時まで | 2 当日の午前 7～8 時 | 3 当日の午前 8 時以降 |
| 4 前日の夕方・夜 | | |

2 ごみの出し方について

問 5. 新しい分け方・出し方でごみを出していますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 きちんと分けている | (問 6 以降へ) |
| 2 だいたい分けている | (問 6 以降へ) |
| 3 あまり分けていない | (問 6 以降へ) |
| 4 分け方を変えていない | (問 10 以降へ) |

問 6. ごみの収集回数について、どのようにお考えですか。

(1) 【燃やすごみ (可燃ごみ) は、週 2 回】 (○はひとつ)

- | | | |
|----------|-------|------|
| 1 ちょうどよい | 2 少ない | 3 多い |
|----------|-------|------|

(2) 【金属・陶器・ガラスごみ (不燃ごみ) は、月 2 回】 (○はひとつ)

- | | | |
|----------|-------|------|
| 1 ちょうどよい | 2 少ない | 3 多い |
|----------|-------|------|

問 7. ごみを 1 度に出す量は、変わりましたか。

(1) 【燃やすごみ (可燃ごみ)】 (○はひとつ)

- | | | |
|----------|---------|------------|
| 1 かなり増えた | 2 多少増えた | 3 あまり変わらない |
|----------|---------|------------|

(2) 【金属・陶器・ガラスごみ (不燃ごみ)】 (○はひとつ)

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1 ほとんどなくなった | 2 半分以下になった | 3 あまり変わらない |
|-------------|------------|------------|

問 8. ごみの分け方に迷う製品は、ありましたか。

(○はひとつ)

- | | |
|--------------|---|
| 1 ない | |
| 2 ある (迷った製品: |) |

問 9. ごみの分け方の変更に伴い、次のように具体的に分かりやすい名称に変えましたが、どのようにお考えですか。

【変更前】	【変更後】
○資源	⇒ ◎びん・かん・ペットボトル類 ◎紙・布類
○可燃ごみ	⇒ ◎燃やすごみ
○不燃ごみ	⇒ ◎金属・陶器・ガラスごみ

(○はひとつ)

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1 分かりやすくなった | 2 あまり変わらない | 3 分かりにくくなった |
|-------------|------------|-------------|

問 10. 問 5 で「分け方を変えていない」と答えた方にお聞きします。

新しい分け方で出していない理由はなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1 分け方などの変更の内容が分かりにくかったから |
| 2 分け方を変えるのがめんどうだから |
| 3 分け方を変える必要性がよく分からないから |
| 4 廃プラスチックなどを燃やすことに抵抗を感じるから |
| 5 その他(理由:) |

3 資源回収について

問 11. 資源回収を週 2 回に増やし、「びん・かん・ペットボトル類」と「紙・布類」の曜日を設定しましたが、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 出しやすくなった | 2 あまり変わらない | 3 出しにくくなった |
|------------|------------|------------|

問 12. 資源回収が週 2 回に増えましたが、資源として出す全体量は変わりましたか。(○はひとつ)

- | |
|---|
| 1 資源を出す機会が増えたため、今までごみで出していたものを資源回収に出すようになり、資源の全体量が増えた |
| 2 これまでも分別を徹底していたので、特に資源の全体量は変わらない |
| 3 資源の出し方などの変更がよく分からないので、資源の全体量は変わらない |
| 4 今まで資源として出していないので、特に資源の全体量は変わらない |
| 5 資源の出し方が分かりにくくなったので、資源の全体量は減った |

問 13. トレーとプラスチック容器の回収をコンテナから回収ネットに変更しましたが、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

※回収ネットを利用していない方は、回答の必要がありません。

- | | |
|------------------|------------|
| 1 使いやすくなった | 2 あまり変わらない |
| 3 使いにくくなった(理由:) | |

4 モデル事業実施の感想について

問 14. モデル事業を実際に行なって、どのように感じましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 不燃ごみが減り、楽になった 2 燃やすごみが増え、大変になった
3 ごみの分け方が分かりやすくなった 4 ごみの分け方に迷うようになった
5 資源回収が週2回になり、出しやすくなった
6 廃プラスチックなどを燃やすごみに出すことに抵抗を感じた
7 ごみや資源に対する意識が強くなった
8 その他()

5 今後の区の資源回収について

問 15. 現在、豊島区では、8品目12分別の多品目資源回収を、他区に先駆けて実施しています。今後、区の資源回収は、どのような方向に進むべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 資源回収の品目を更に増やして充実する方がよい
(具体例:)
- 2 分別する品目を増やすと分かりにくくなるので、現在の定着している資源回収を徹底する方がよい
- 3 保管場所が少ないので、これ以上品目を増やさない方がよい
- 4 分別が複雑なので、現在の品目を減らした方がよい
- 5 その他 ()

●その他、ご意見やご感想など、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

廃プラスチックサーマルリサイクル（新資源回収事業） 本格モデル実施状況（速報値）

1 ごみ量・資源量の状況

(1) 実施概要

■本格モデル地域の規模（平成19年10月1日現在）

13, 165世帯（全世帯のうち 9.3%）〔人口〕 23, 667人	
○駒込地域（1～3丁目） 4, 054世帯 〔人口〕 6, 976人	
○池袋本町地域（3・4丁目） 4, 665世帯 〔人口〕 8, 692人	
○目白地域（3～5丁目） 4, 446世帯 〔人口〕 7, 999人	

■実施期間

平成19年10～12月

(2) 実施結果（全地域）

【ごみ収集量】

単位：収集量トン、増減量トン、増減率%

区分 月別	ごみ総量			燃やすごみ			金属・陶器・ガラスごみ		
	収集量	増減量	増減率	収集量	増減量	増減率	収集量	増減量	増減率
総計	1,480.37	—	—	1157.80	—	—	322.57	—	—
	1,332.77	△147.60	△10.0	1,258.52	100.72	8.7	74.25	△248.32	△77.0
10月	489.28	—	—	391.96	—	—	97.32	—	—
	448.21	△41.07	△8.4	420.34	28.38	7.2	27.87	△69.45	△71.4
11月	468.76	—	—	361.03	—	—	107.73	—	—
	417.36	△51.40	△11.0	396.17	35.14	9.7	21.19	△86.54	△80.3
12月	522.33	—	—	404.81	—	—	117.52	—	—
	467.20	△55.13	△10.6	442.01	37.20	9.2	25.19	△92.33	△78.6

【資源回収量】

単位：回収量トン、増減量トン、増減率%

区分 月別	資源総量			びん・かん・ペット ボトル類			紙・布類		
	回収量	増減量	増減率	回収量	増減量	増減率	回収量	増減量	増減率
総計	332.57	—	—	90.21	—	—	242.36	—	—
	440.71	108.14	32.5	119.61	29.40	32.6	321.10	78.74	32.5
10月	118.62	—	—	35.65	—	—	82.97	—	—
	161.92	43.30	36.5	44.60	8.95	25.1	117.32	34.35	41.4
11月	105.19	—	—	26.40	—	—	78.79	—	—
	132.20	27.01	25.7	36.71	10.31	39.1	95.49	16.70	21.2
12月	108.76	—	—	28.16	—	—	80.60	—	—
	146.59	37.83	34.8	38.30	10.14	36.0	108.29	27.69	34.4

注1. 月別欄上段はモデル実施前、下段はモデル実施後

注2. モデル実施前の収集量、回収量は、平成19年6月の調査値を過去4年間の各月平均値により補正

モデル地域の集積所状況

【池袋本町3丁目の例】

【実施前 9月】

【実施後 11月】

燃
やす
ごみ



ガラスごみ
金属・陶器・



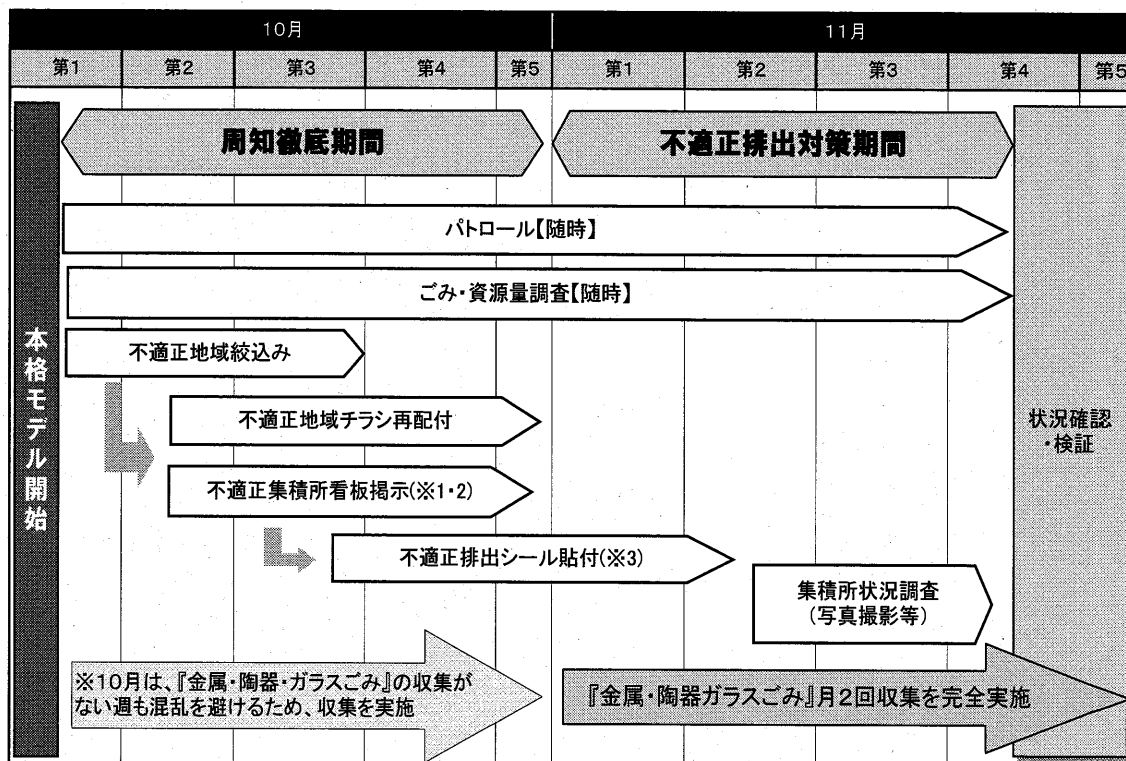
(不燃系)
資源



(可燃系)
資源



(3) フォローアップの取組



○フォローアップ関連看板等(池袋本町地域の例)

対象地域 池袋本町3・4丁目 開始時期 平成19年10月から

資源とごみの分け方・出し方が変わります

資源とごみは収集日の 朝8時 までに出してください。

資源	びん・かん・ペットボトル類 Bottles, Cans, PET bottles	火 TUE	びん、かん、ペットボトル、トレー、プラスチック容器(ボトルタイプ)
	紙・布類 Paper, Clothing	水 WED	新聞、雑誌、段ボール、厚紙製の箱、包装紙、牛乳パック、古布
燃やすごみ Suitable For Burning		月 MON	生ごみ、紙くず、木くず、プラスチック(資源回収品を除く)、ゴム、皮革 など
金属・陶器・ガラスごみ Metal, China, Glass		第1金 1ST FRI	金属、陶器、ガラス、スプレー缶、ガスライター など

※新聞・雑誌等は、まず町会などで行っている「集団回収」に出してください。

「金属・陶器・ガラスごみ」は、月2回 の収集です。
第2・4・5の金曜日は収集日ではありません。

豊島清掃事務所 ☎3984-9681 清掃環境部計画管理課 ☎3981-1601
Choshi City Cleansing Office Planning and Management Section Sanitation and Environment Div.

【不適正集積所看板(※1)】

集積所ご利用の方へ

第2・4・5の金曜日は、ありません。

集日ではありません。

金曜日は、ありません。

第2・4・5の金曜日は、ありません。

豊島清掃事務所 連絡先:3984-9681

【不適正集積所看板(※2)】

廃プラスチックは、『燃やすごみ』の日に出してください。

豊島清掃事務所 連絡先:3984-9681

【不適正排出シール(※3)】

2 アンケート調査結果【速報】

(1) 調査概要

■調査目的

このアンケート調査は、本格モデル地域の区民を対象に、「新たな資源とごみの分け方・出し方」や「モデル実施の周知方法」などについて、区民の行動や意向などを把握・分析し、来年度の本格実施に向けた基礎資料とするため実施した。

■調査時期

平成19年11月15日（木）～11月30日（金）

※モデル実施開始後、事業が定着すると思われる時期

■調査対象

駒込2・3丁目、池袋本町3・4丁目、目白3・4丁目の計1,000世帯

※住民基本台帳人口から、モデル実施地域に住んでいる20歳以上の世帯主

1,000名を年齢層、世帯構成がおおよそ均等になるよう無作為抽出

※駒込1丁目及び目白5丁目は、試行モデル時に実施したため、対象から除く。

■調査方法

(1) 調査方法

自記式調査票による郵送配布・郵送回収

(2) 調査票作成・郵送・集計・分析

職員によるアンケート作成、データ入力・集計・解析等

(3) 対象者の抽出

住民基本台帳より無作為抽出

■回収結果

(1) 発送数 1,000通

(2) 有効発送数 994通（あて先不明6通除く。）

(3) 回収数 505通（12月3日到着分まで）

(4) 有効回収数 505通

(5) 有効回答率 50.8%

■調査対象の基本属性

1		選択肢	件数	割合 (%)
性別	男		209	41.4
	女		296	58.6
	無回答		0	0.0
	全体		505	

2		選択肢	件数	割合 (%)
年齢	20歳代		61	12.1
	30歳代		93	18.4
	40歳代		80	15.8
	50歳代		81	16.0
	60歳代		108	21.4
	70歳代以上		82	16.2
	無回答		0	0.0
	全体		505	

3		選択肢	件数	割合 (%)
家族の人数	1人		57	11.3
	2人		116	23.0
	3人		117	23.2
	4人		116	23.0
	5人		68	13.5
	6人以上		31	6.1
	無回答		0	0.0
	全体		505	

4		選択肢	件数	割合 (%)
職業	会社員・会社役員・公務員		168	33.3
	自営業・自由業		63	12.5
	パート・アルバイト		50	9.9
	専業主婦		116	23.0
	学生		6	1.2
	無職		79	15.6
	その他		23	4.6
	無回答		0	0.0
	全体		505	

5		選択肢	件数	割合 (%)
住居	一戸建て（住居専用）		207	41.0
	一戸建て（店舗・事務所・工場等併設）		34	6.7
	2階までの集合住宅		37	7.3
	3階建て以上の集合住宅		217	43.0
	その他		10	2.0
	無回答		0	0.0
	全体		505	

6 居住 年数	選択肢	件数	割合 (%)
	1 年未満	22	4. 4
	1 年以上～5 年未満	72	14. 3
	5 年以上～1 0 年未満	57	11. 3
	1 0 年以上～2 0 年未満	82	16. 2
	2 0 年以上	272	53. 9
	無回答	0	0. 0
	全体	505	

7 地域	選択肢	件数	割合 (%)
	駒込	129	25. 5
	池袋本町	277	54. 9
	目白	99	19. 6
	無回答	0	0
	全体	505	

(2) アンケート結果について

1 モデル事業の周知度、周知方法について

モデル事業で実施した周知方法やチラシ内容は、周知度・理解度ともに90%を超えており、ほぼ目標は達成されている。

モデル事業を知った手段は、「各戸配布チラシで」による周知が78.3%となっており最も有効な手段となっている。次いで「町会の回覧で」が28.5%であり、「集積所の看板で」が20.2%、「区報で」が18.2%、件数でみると、この4つで全体の約8割を占めている。

2 ごみの出し方について

モデル事業への協力度は、「きちんと分けている」と「だいたい分けている」を合わせると96.3%であり、想定していた協力率80%を上回っている。

収集回数は、「燃やすごみ」（週2回）、「金属・陶器・ガラスごみ」（月2回）ともに「ちょうど良い」が75%を超えている。名称の変更についても「分かりやすくなった」が71.7%となっており、新たなごみ出しのシステムへ円滑に移行していると考えられる。

「分別で迷った製品がある」が33.5%あり、具体的に「アルミホイル」、「金属の混じったプラスチック製品」等が挙がっており、周知内容について工夫を要する。

※ごみ量の変化は、予想された傾向であるが、今後、実際のごみ収集量やごみ組成調査等の結果を十分に検証する必要がある。

3 資源回収について

資源回収の回数を週1回から2回に倍増し、品目を整理したことにより、「出しやすくなった」が64.0%となっている。

新たに導入した「回収ネットの使いやすさ」は、無回答を除き、「使いやすくなった」の24.4%と「あまり変わらない」の32.0%を合わせると5割を超えている。一方、「使いにくい」も1割を超えており、引き続き検証が必要である。

4 モデル事業の感想について

モデル事業の感想は、「不燃ごみが減り、楽になった」が56.8%で最も高く、次いで「ごみの分け方が分かりやすくなった」が42.1%、「資源回収が週2回になり、出しやすくなった」が41.5%と、今回の新たな分け方・出し方に好意的な感想が上位を占めており、変更の趣旨や新たなシステムは全般的に受け入れられていると考えられる。

一方、「廃プラスチックを燃やすごみに出すことに抵抗を感じた」とする感想は37.6%あり、その理由としては、環境への影響やこれまでの習慣等が考えられる。今後も実証確認結果の公表をはじめ、適時適切な情報提供に努めることが必要である。

5 今後の区の資源回収について

「現状の資源回収品目を維持した方がよい」、「増やさない方がよい」とする意見が9割を超えており、資源の適正利用や、環境負荷の軽減等の資源循環型社会づくりを目指す上で、公共サービス、経済性等の様々な視点から、今後の資源回収のあり方等について検討する必要がある。

(3) アンケート集計結果

1 モデル事業の周知度、周知方法について

問1 ごみや資源の分け方の周知

選択肢	件数	割合 (%)
知っていた	484	95.8
知らなかった	21	4.2
無回答		0.0
全体	505	

問2 モデル事業の周知方法（複数回答）

選択肢	件数	割合 (%)
各戸配布チラシで	379	78.3
地域説明会で	23	4.8
収集職員に聞いた	10	2.1
集積所の看板で	98	20.2
町会の回覧で	138	28.5
近所の人に聞いた	26	5.4
区報で	88	18.2
区のホームページで	7	1.4
町会・区の掲示板で	59	12.2
その他	16	3.3
全体	844	

問3 新たな分け方・出し方の理解度

選択肢	件数	割合 (%)
よく分かった	227	46.9
だいたい分かった	230	47.5
よくわからない	10	2.1
無回答	17	3.5
全体	484	

問4 排出時間の状況

選択肢	件数	割合 (%)
当日の午前7時まで	61	12.6
当日の午前7～8時	269	55.6
当日の午前8時以降	66	13.6
前日の夕方・夜	50	10.3
無回答	38	7.9
全体	484	

2 ごみの出し方について

問5 新たなごみ出しへの協力度

選択肢	件数	割合 (%)
きちんと分けている	351	72.5
だいたい分けている	115	23.8
あまり分けていない	2	0.4
分け方を変えていない	2	0.4
無回答	14	2.9
全体	484	

問 6 (1) 「燃やすごみ」の収集回数

選択肢	件数	割合 (%)
ちょうどよい	371	76.7
少ない	83	17.1
多い	2	0.4
無回答	28	5.8
全体	484	

問 6 (2) 「金属・陶器・ガラスごみ」の収集回数

選択肢	件数	割合 (%)
ちょうどよい	365	75.4
少ない	70	14.5
多い	22	4.5
無回答	27	5.6
全体	484	

問 7 (1) 1 度に「燃やすごみ」を出す量の変化

選択肢	件数	割合 (%)
かなり増えた	169	34.9
多少増えた	201	41.5
あまり変わらない	97	20.0
無回答	17	3.5
全体	484	

問 7 (2) 1 度に「金属・陶器・ガラスごみ」を出す量の変化

選択肢	件数	割合 (%)
ほとんどなくなった	226	46.7
半分以下になった	128	26.4
あまり変わらない	110	22.7
無回答	20	4.1
全体	484	

問 8 ごみの分け方に迷う製品

選択肢	件数	割合 (%)
ない	300	62.0
ある	162	33.5
無回答	22	4.5
全体	484	

問 9 名称の変更

選択肢	件数	割合 (%)
分かりやすくなった	347	71.7
あまり変わらない	99	20.5
分かりにくくなった	25	5.2
無回答	13	2.7
全体	484	

問 10 問 5 で「分け方を変えていない」と答えた理由

選択肢	件数	割合 (%)
分け方などの変更の内容が分かりにくかったから	0	0.0
分け方を変えるのがめんどうだから	0	0.0
分け方を変える必要性がよく分からないから	1	0.2
廃プラなどを燃やすことに抵抗を感じるから	0	0.0
その他	1	0.2
無回答	482	99.6
全体	484	

3 資源回収について

問 11 資源回収の出しやすさ

選択肢	件数	割合 (%)
出しやすくなった	310	64.0
あまり変わらない	143	29.5
出しにくくなった	7	1.4
無回答	24	5.0
全体	484	

問 12 資源を出す全体量の変化

選択肢	件数	割合 (%)
出す機会が増え、資源の全体量は増えた	106	21.9
これまでも分別を徹底していたので、変わらない	327	67.6
変更の内容が分からないので、変わらない	12	2.5
今まで資源を出していないので、変わらない	15	3.1
出し方が分かりにくくなったので、減った	2	0.4
無回答	22	4.5
全体	484	

問 13 回収ネットの使いやすさ

選択肢	件数	割合 (%)
使いやすくなった	118	24.4
あまり変わらない	155	32.0
使いにくくなった	57	11.8
無回答	154	31.8
全体	484	

4 モデル事業実施の感想

問 14 実際にモデルを行った感想

選択肢	件数	割合 (%)
不燃ごみが減り、楽になった	275	56.8
燃やすごみが増え、大変になった	57	11.8
ごみの分け方が分かりやすくなった	204	42.1
ごみの分け方が迷うようになった	44	9.1
資源回収が週 2 回になり、出しやすくなった	201	41.5
廃プラスチックを燃やすごみに出すことに抵抗を感じた	182	37.6
ごみや資源に対する意識が強くなった	91	18.8
その他	27	5.6
全体	1081	

5 今後の資源回収について

問 15 区の資源回収の取り組み

選択肢	件数	割合 (%)
品目を更に増やして充実する方がよい	59	11.7
品目増やすと分かりにくくなるので、現行を徹底する方がよい	349	69.1
保管場所が少ないので、これ以上増やさない方がよい	110	21.8
分別が複雑なので、品目を減らした方がよい	16	3.2
その他	20	4.0
全体	554	